

さぬき市教育委員会事務局 生涯学習課



令和3年 5月

「性教育」とは… 命が大切＝あなたが大切という教え

子どもは自分の生まれてきた時の話が大好きです。お腹にいたときのこと、どんな風に生まれてきたか、たくさん話してあげてください。あなたの存在そのものがとても大事なことで、たくさんの人に愛されているという教えは、命の大切さを知ることであり、自分の体を大事にすることにつながる、とても大切な性教育です。



「性の話」は子どもの理解度に合わせて、
幼児期から少しずつ…

性教育は身近なところから、小さなことの積み重ねが大切です。

時間をかけながら、たくさんの性に関する小さな話をするほうが良いのです。

性について、子どもといつから話し始めるのがいい？

おむつを替える時



「おしっこが出てさっぱりしたね。きれいにしておこうね」等の言葉がけをしながらケアをしましょう。

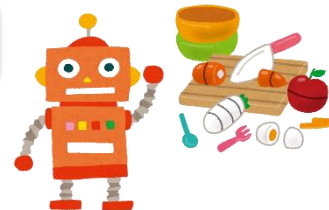
トイレトレーニングや
お風呂で

・排泄の仕方や性器を清潔に保つケアを教えましょう。
・女の子の体と男の子の体の違い、子どもと大人の体の違いについても話しましょう。



おもちゃや遊びを選ぶ時

性別（男らしさ・女らしさ）にこだわらず、その子らしくいることを受け止めましょう。



友達や家族・周囲とのスキンシップがあった時

お友達と手をつなぐ・つながりがないで、けんかになった時、本人は嫌なのに家族からキスをされたといった場合も「同意」について伝えるチャンスです。



子どもから命の誕生や性に関する疑問を投げかけられた時

「そんなことに興味をもち始めたんだね、聞いてくれてありがとう」と、まずはオウム返しでいいのです。

上手く伝えようと思わないことがポイント。だんだん年齢とともに「なんで？」と聞かれたら答えていけばいいのです。保護者が信頼できる情報源になることができます。

幼児期は性に対して先入観がないこと、教えられたことを素直に受け止め、吸収していく時期だからこそ伝えやすさもあります。



子どもの質問に答えるときに大切な3つのこと

- ① うそをつかない
- ② 逃げない
- ③ 怒らない



【裏面もご覧ください】

子どもが性器をさわっているところを見たらどうしたらいい？

性器を含め、身体に興味をもつのは

自然なことです。

「さわる時は、きれいな手でやさしく、一人にいる時にしようね」などマナーを教える機会につなげることができます。



「ウンチ」「おしり」「ちんちん」など、性的なことを連呼するときは？

性の話題は大切なことですが、プライベートなことでもあり、性的な言葉で人を不快にさせたり、公共の場や人前で大きな声で話したりすることは、マナー違反だと話しましょう。

絵本なども使いながら排泄や性について、学ぶ機会につなげていきましょう。



『よくわかるオチンチンの話』

(金の星社)

とてもわかりやすく男の子の体のことが書いてあるので、男の子ママやパパたちにぜひ読んでほしいです。



『おちんちんのえほん』(ポプラ社)

3歳くらいからの子に。プライベートゾーンの話もしっかり出てきます。性被害やいのちの誕生までをやさしくわかりやすく描いています。

知っておきたいプライベートゾーンのルール

プライベートゾーンは他人が勝手に触ったり、見たり、触らせようとしたり見せたりしてはいけない場所です。プライベートゾーンにかかわる言葉や行動で他の人に嫌な思いをさせないように、きちんと話しておかなければいけません。



『とにかくおれでにげるんだ わるい人から身をまもる本』(岩崎書店)

嫌な事をされたらやめとて言っにけること、人に話していいんだよと教えてくれる本。性のトラブルに直面したときの子どもへの接し方や心構えなど、親へのアドバイスも注目です。

「赤ちゃんはどこから来るの？」などと聞かれたら…

「いい質問だね」と受け止め、子どもがどんなことに興味をもっているのか、子ども自身はどう考えるのかを聞きながら、科学的な観点から会話を深めていきましょう。



『ぼくのはなし』(童心社)

ぼくやわたしがどうやって生まれたのかをやさしく教えてくれます。



『わたしのはなし』(童心社)

プライベートゾーンや自分の体を自分で守ることの大切さを描いた絵本です。



『13歳までに伝えたい女の子の心と体のこと』(かんき出版)

毎月、生理が来るのが楽しみになる本。小学校中学年くらいになったら、女の子がいるママに、ぜひ娘さんと読んでほしいです。女の子が豊かに育つために必要な心と身体の変化が、まんがとコラムでまとめられています。